



同社製品のインキ製品



調色名人UVジュニア

世界初の1工程調色システム UV調色名人を開発・販売 「谷ロインキ製造株式会社」

- 所在地：(本社) 東京都荒川区西尾久7-60-3
(工場) 茨城県水海道市内守谷3950-3
- 創 業：大正3年6月
- 従業員：110名
- T E L：0297-27-1145
- F A X：0297-27-1127
- U R L：<http://www.taniguchi-ink.co.jp/>

谷ロインキ製造株式会社は、生産拠点を茨城県内におく中堅のオフセット印刷用インキメーカーである。印刷業界において、同社のインキは他社のものと比較して「速乾性が高い」と定評があり、業界内に根強い人気がある。この秘密は、同社の商品開発力にある。インキは、色そのものの顔料と粘密着性や乾燥性等の特性を決めるワニスで構成されるが、ワニスはほとんどが、大手メーカーによって開発、生産されており、中小企業が製品の独自性を出すのが難しかった。しかし、同社は自前の研究施設で10名の研究員が製品開発をしており、大手メーカーに負けない製品開発が可能となっている。

ところで、カラー印刷は、黄、紅、藍、墨の4つの原色インキをかけ合わせて様々な色を作る。この調色作業が印刷物の品質や仕上り時間を決め、収益性を左右するが、この作業ができる熟練技術者が「若い技術者への技術移転の難しさ」等の理由で不足し問題となっている。同社はこれに着目し、1991年に普通紙等印刷のオフセットインキ用コンピュータカラーマッチングシステム「調色名人」を開発・発売した。この製品は、コンピュータと連動により、熟練技術者でなくても簡単な作業で調色と自動計量が可能な画期的な性能を有し注目を浴びた。さらに、93年にはインキの同時計量方式により計算速度が以前の3倍になった「調色名人ジュニア」、97年にはミキサーを内蔵し、計量から攪拌まで全自動で行う「調色名人ジュニアマークII」をそれぞれ開発・発売した。そして、近年、高級紙のアート紙印刷など高付加価値な印刷物に適し高需要だが、自動計量が難しかったUVインキ用の「調色名人UVジュニア」の開発に成功し販売中である。今後の発展に期待したい。